

# 斉藤国土交通大臣が立山砂防管内を視察



斉藤国土交通大臣が6月26日に富山県内を訪問し、立山カルデラにおける砂防事業の視察を行いました。視察に先立ち、地元立山町長を始めとする地元関係者と懇談を行い、啓発活動の実施等、立山砂防の応援に対して謝辞を述べられました。

その後、立山砂防工事専用軌道（通称：トロッコ）で立山カルデラへ向かい、最前線の水谷平で働く職員への激励、国重要文化財に指定された歴史的砂防施設：白岩砂防堰堤などの視察を行い、「防災・減災・国土強靱化の国事業の中で、砂防事業は国民の命と暮らしを守る最も大切なものである。国として地域で長期的な展望を立てられる体制を整えたい。」と述べられました。

地元関係者との懇談会



立山町長ら地元関係者と懇談する斉藤大臣

トロッコによる沿川砂防施設の視察



立山砂防工事専用軌道(トロッコ)で立山カルデラへ向かう斉藤大臣

水谷出張所職員激励



厳しい自然環境のなか砂防事業を担う職員を激励する斉藤大臣(前列中央)

白岩砂防堰堤視察



国重要文化財に指定された歴史的砂防施設：白岩砂防堰堤を視察する斉藤大臣

白岩砂防堰堤視察



国重要文化財に指定された歴史的砂防施設：白岩砂防堰堤を視察する斉藤大臣

立山カルデラにおける砂防事業視察



立山カルデラにおける砂防事業の歴史的経緯の説明を受ける斉藤大臣